

2月16日神戸新聞朝刊北播版には、本校生活科学科2年生が播磨中央公園の活用について発表した内容の記事が掲載されて...



観光協会インターンシップ中であつたようで、まだまだ生徒達の活動について理解を深めないといけないと実感させられた記事でした。このインターンシップではいろいろなところに連れて行っていただき、どのような人をターゲットにどのような視点でツアー企画をするかなど考える機会をいただいたそうです。本校企画のツアーを考える上でとても勉強になったのではないのでしょうか。また若者の視点とよく言われますが、どのような視点を必要としているのか受け取り側も考えておかねばなりません。このことは今後、地域連携を進めていく上で極めて重要なポイントになりますし、

私たちとしては生徒の視野を広げ、斬新な企画を考えられる能力を身につけさせる仕掛けを考えなければなりません。学校、地域、家庭の協力は重要です。未来の人材育成に向け協力をお願いします。

2月17日毎日新聞朝刊には山本監督の取材記事が掲載。何を大事にしておられるかがよくわかります。社高校の取組も含め、広く知っていただける機会になります。また、選抜大会出場に関しては生徒会を中心とした生徒達の動きも出てきました。生徒達の活動を支援し、学校一体となる良い機会だと思いますので、積極的に活動して欲しいと思います。よろしくお祈りします。



加東市役所の玄関脇のフリースペースには野球部選抜大会出場の応援懸垂幕が庁舎内に飾られていました。また、市内各中学校には横断幕が掲げられ、神戸新聞北播版には、歩道橋に掲げられた横断幕の記事が掲載されており、加東市あげて応援していただいています。さらに右写真のようなポスターも製作していただき、市内各所に張っていただいているそうです。昨夏甲子園出場の際のポスターがかなり好評だったようで、今回もプロ野球の開幕を思わせるポスターに仕上げていただいたようです。本当にありがたいことです。地元市民の皆様のお力をお借りして、その支援に感謝の気持ちを持って野球部員もしっかりと取り組んでくれると思います。多くの方々の思いを受け止めて頑張りましょう。



神戸新聞北播版には、歩道橋に掲げられた横断幕の記事が掲載されており、加東市あげて応援していただいています。さらに右写真のようなポスターも製作していただき、市内各所に張っていただいているそうです。昨夏甲子園出場の際のポスターがかなり好評だったようで、今回もプロ野球の開幕を思わせるポスターに仕上げていただいたようです。本当にありがたいことです。地元市民の皆様のお力をお借りして、その支援に感謝の気持ちを持って野球部員もしっかりと取り組んでくれると思います。多くの方々の思いを受け止めて頑張りましょう。



毎日新聞は、兵庫県から出場する本校と報徳学園高校の記事を本当にこまめに掲載していただいています。部員達も元気が出ることでしょ。(写真左は2月19日朝刊掲載記事)さらに19年前選抜初出場時の監督でもおられた前森脇校長の当時の振り返りの取材記事が2月20日朝刊に掲載されました。いろいろと紐付けて取材記事を掲載していただくことで、本校の歴史も伝わるようです(写真右)。



さて、2月15日に行われた推薦入試、特色選抜入試は欠席者もなく体育科70名、生活科学科30名、看護医療類型33名が受検し、20日14時から合格者発表を行いました。それぞれ定員の体育科40名、生活科学科20名、看護医療類型24名の合格



を発表しました。合格者の皆さんは、本校入学に向けて残りの中学校生活でしっかりと準備を進めてきてください。残念ながら合格に至らなかった皆さんは、3月複数志願選抜に向けて気持ちを切り替えて頑張りください。明後日からはその募集が始まります。22日、24日は9時から16時30分、27日は12時まで

が受付時間です。よろしくお祈りします。

学校では20日から学年末考査が始まりました。いよいよ1年の学習のまとめです。最後までしっかりと頑張ってください。体調管理にはくれぐれも気をつけて頑張りましょう。